

# 週間漁海況情報 2024年第1号

令和6年1月4日発行

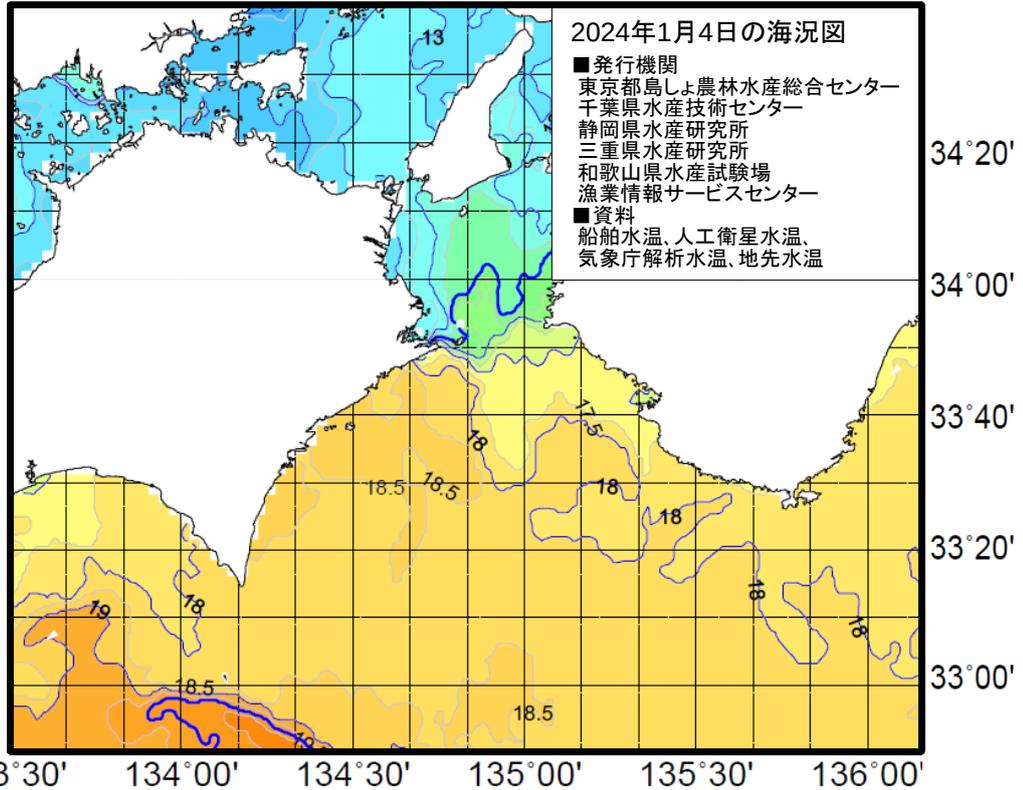
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖49マイル付近、潮岬沖107マイル付近を流れ、室戸で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。現在、黒潮は足摺岬に近づいているが、その後は室戸岬に近づいてくると予測されている。

黒潮の表面水温は22℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は12～13℃、紀伊水道は12～17℃、海部沿岸は17～18℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

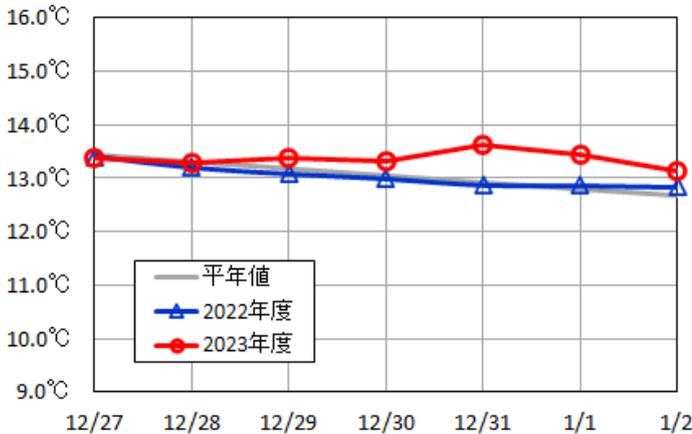
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

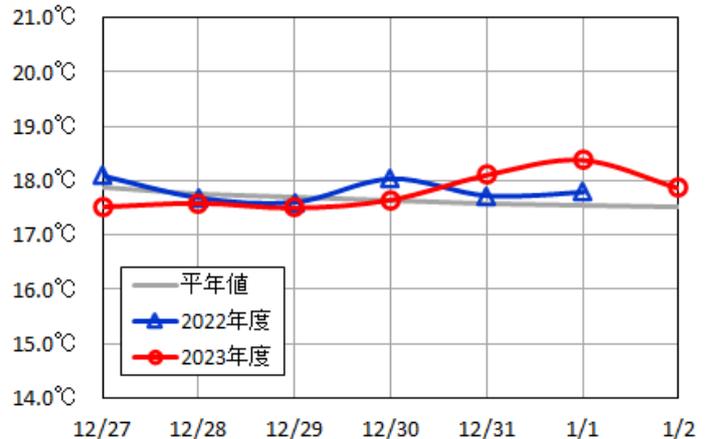
### 2. 地先水温(12月27日～1月2日)

鳴門地区の水温は、13.1～13.6℃で「平年並み」から「やや高め」、浅川地区は、17.5～18.3℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は4.1～4.9℃で、先週より大幅に広がった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(1月3日～1月9日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、浅川地区ともに、「やや高め」から「平年並み」で推移する見込み。

**漁況** (12月25日～12月31日)

**1. 紀伊水道 (標本漁協：5)**

船びき網では、シラスが減って5.1ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて小主体に2.6ト、カワハギが大主体に0.9ト、すずき類が減って大主体に0.6ト、マダイが増えて小主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、クマエビが増えて0.5ト、えそ類が0.4ト、モンゴウイカが大きく減って0.3ト、コウイカが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協：4)**

延縄では、キダイが増えて0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、メジナが増えて0.5ト、アオリイカが減って0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マサバが大きく増えて小主体に3ト、メアジが減って0.7ト、ゴマサバが大きく増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	19	シラス	5,130	270		↘
	小型定置網	23	マアジ	2,571	112	小主体	↗
		25	カワハギ	934	37	大主体	→
		12	すずき類	553	46	大主体	↘
		19	マダイ	310	16	小主体	↗
		24	クマエビ	520	22		↗
	底びき網	25	えそ類	381	15		→
		24	モンゴウイカ	349	15		↘↘
		25	コウイカ	323	13	大主体	↗
海部沿岸	延縄	16	キダイ	372	23		↗
	小型定置網	7	メジナ	464	66		↗
		41	アオリイカ	330	8		↘
	大型定置網	1	マサバ	3,003	3,003	小主体	↗↗
		2	メアジ	676	338		↘
		2	ゴマサバ	342	171	大主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘